

平成 26 年 10 月 23 日

海事局 総務課 海事振興企画室

担当：岩下、池田

Tel: 03-5253-8946(直通)

03-5253-8111(内線 43-214, 43-215,43-216)

Fax: 03-5253-1642

第 2 回海洋観光・海を身近に懇談会の開催報告

標記懇談会を下記のとおり開催しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 日時 平成 26 年 10 月 22 日 (水) 13:20~16:30
2. 場所 竹芝棧橋及び東海汽船(株)本社会議室
3. 出席者 別紙参照
4. 懇談会の内容



今回、離島への船旅の魅力等を題材として、新たな海の魅力に迫るべく、東京都の離島の玄関口である「竹芝棧橋」で開催致しました。

- ① 懇談会に先立ち、ジェットフォイル「セブンアイランド虹」の船内見学を行い、その出航を見送り、ジェットが海水を噴射し、その強烈な推進力で船を浮かし、滑らかに伊豆大島へ向けて疾走するシーンを目に焼き付けました。

続いて、結婚式や披露宴等も行われているレストラン船「ヴァンテアン」において、船内見学を行いました。レストラン船ならではの豪華な仕様、大きなガラス張り越しに見る東京湾の眺望、滅多に見れないブリッジなど、多くの魅力を堪能しました。

- ② 懇談会では、会議室に離島や船のポスターやパネルを飾り、離島への船旅のイメージを広げながら、東海汽船(株)の山川様から「東海汽船の概要及び離島の船旅の魅力」、矢ヶ崎委員から「海洋観光の課題・方向性」、林委員から「離島におけるブルーツーリズムや漁村との交流等」について説明いただきました。

その後の意見交換では、「島は時間のリズムが違うため、島に行くだけでリラックスできる (アイランドセラピー)」、「島で味わうトレッキング (山の島旅)、夜には満点の星空や漁船で行く夜光虫の見学ツアーなど、島ならではのネイチャーツアーが豊富」などが上げられましたが、その反面、「島で捕れた高級魚は、築地へ卸され、地元ではあまり提供されていない」、「島旅 (クルーズ) は、富裕層のイメージがある」等の意見が出され、豊富にある離島の魅力を如何に活かしていくかなどが取り上げられ、大変活発で有意義な懇談会となりました。

※今回の懇談会の内容については、「海洋観光・海を身近に懇談会」の Facebook に掲載しておりますので、是非ご確認下さい。



Facebook ページ公開中！

海洋観光・海を身近に懇談会

検索



第2回海洋観光・海を身近に懇談会出席者

(委員)

- | | |
|------------------------------------|--------|
| ◎東洋大学国際地域学部国際観光学科准教授 | 矢ヶ崎 紀子 |
| ・(株) J T Bパブリッシング執行役員 | 楓 千里 |
| ・(株) 舵社 常務取締役 | 田久保 雅己 |
| ・きずなクリエイション
にいがた観光カリスマ フリーバスガイド | なぐも 友美 |
| ・瀬戸内海汽船(株) 代表取締役社長 | 仁田 一郎 |
| ・(一財) 漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部次長 | 林 浩志 |
| ・明治大学経営学部教授 | 星野 敏男 |
| ・東京都観光汽船(株) 代表取締役 | 守谷 慎一郎 |

(その他)

- | | |
|----------------------|-------|
| ・東海汽船(株) 取締役社長 | 山崎 潤一 |
| ・東海汽船(株) 旅客部長 | 山川 哲矢 |
| ・国土交通省海事局長 | 森重 俊也 |
| ・国土交通省海事局次長 | 櫻井 俊樹 |
| ・国土交通省海事局総務課長 | 河村 俊信 |
| ・国土交通省海事局総務課海事振興企画室長 | 千葉 政俊 |
| ・国土交通省海事局船舶産業課舟艇室長 | 宮武 宣史 |